

防犯指針の活用

県では、平成30年1月に、防犯に関する指針を示した「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり各種防犯指針」を改定しました。

指針を活用し、「犯罪が起きにくい環境づくり」を目指しましょう。

●危険な場所●

犯罪者は、はじめにおそいやすい場所を探します。

おそいやすい場所(2つのキーワード)

「入りやすい場所」:だれでも入りやすい場所は、犯罪者も入りやすく、逃げやすい場所です。

「見えにくい場所」:周りから見えないところは、犯罪者がかくれてもわからないし、悪いことをしても見つからない場所です。

例えば

- 木がうっそうと茂って見通しの悪い公園
- 人通りが少ない場所
- 高く長い壁が続く人通りのない道
- 路上駐車が多い道
- 防犯灯の少ない暗い道
- 落書きがあったり、ゴミが散乱している場所
- 管理されていない駐車場や駐輪場



※落書きがあったり、ゴミが散乱しているところは、管理されていない、無関心な場所であることから、「入りやすい場所」「見えにくい場所」と考えられ、犯罪が起きやすい場所になります。

●安全な場所●

- 「入りにくい場所」+「見えやすい場所」
- ゴミがなく、花壇などがあり、人目が行き届いている場所

指針では、学校や通学路、住宅等、様々な場所やシチュエーションにおけるチェック項目を記載しています。

詳細はホームページをご確認ください。

宮城 防犯指針

●「チェック票」も確認できます

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/bouhanshishin.html>



みんなの力で 犯罪のないみやぎを 実現しましょう



一人一人が犯罪にあわないように 気をつけましょう。

- 家・車・自転車には、必ずカギをかけましょう。被害の半数以上は無施錠です。
- 歩きスマホなどの「ながら歩き」はやめましょう。
- 地域でどんな事件・事故が起きているかが分かる防犯情報を活用しましょう。

防犯情報は、宮城県警察が配信する「みやぎSecurityメール」で知ることができます。登録は、[t-miyagi@sg-m.jp]へ空メールを送信するか、登録用コードをスキャンしてください。



子どもが被害にあわないように 地域で見守りましょう。

- 家庭での安全教育に努めましょう。
- 子どもが危険な場所に近寄らないように声をかけましょう。

高齢者を犯罪被害から守りましょう。

- オレオレ詐欺等の高齢者を狙う犯罪の防犯情報を提供しましょう。
- 犯罪被害にあわないよう、高齢者に積極的に声をかけましょう。

犯罪のない安全・安心な環境を つくりましょう。

- 地域の環境美化活動に参加しましょう。
- 防犯指針を活用し、地域の安全を点検して危険個所を改善し、安全な地域をつくりましょう。

犯罪のない 安全で安心なまちづくり

に参加してみよう!!

誰にでも簡単にできることです できることから始めてみませんか

犯罪のない安全・安心まちづくり
県民運動を展開しています。



宮城県 宮城県警察 すばらしいみやぎを創る協議会



この印刷物は4,000部作成し、1部あたりの単価は32円です。
環境に優しい再生紙・植物油インキを使用しています。

地域の人々とコミュニケーションを広げ、みんなで協力して 安全で安心な地域をつくりましょう!!

始めませんか？防犯CSR活動

CSRとは、「Corporate Social Responsibility」の略で、企業等の社会的責任と翻訳されます
企業等が自ら企画・立案し、犯罪の被害防止など地域に貢献する取組を「防犯CSR」といいます

●防犯CSR活動

住民：安全確保、安心感の向上
企業：信頼度、知名度の向上

住民と企業の絆が深まり地域全体の防犯意識が向上します
警察から企業には必要な情報提供や表彰制度などもあります



あいさつ運動

●学校や家庭・地域でみんなが気軽にあいさつを
交わす「あいさつ運動」

地域のつながりが深まります

●地域に住んでいる人同士が顔見知りになる

見知らぬ人に注意を払うようになります

犯罪者を地域から遠ざけます

※侵入盗の犯人の多くが、その地域での犯行をあきらめた理由として、
「近所の人に声をかけられた」
「近所の人からじろじろ見られた」と言っています。



花のあるまち運動

●花のあるまち運動（家庭・地域での花壇づくり）

近所づきあいが始まります

近くで発生している事件についての話題も広まり、
互いに気をつけあうようになります

●花のあるまちで、管理され、地域全体に
人の目が行き届いていることを示す

人目を気にする犯罪を起こそうとする
者に、犯罪を思いとどませます



ながら見守り運動

●子どもの登下校の時間にあわせ、玄関先に出て
子どもの様子を見守る運動

地域のつながりが生まれ、子どもたちは、
地域に住む大人の顔を覚えます

見守られていることを実感する
子どもたちは安心します

●子どもの登下校時間に地域に大人の目がある

人目を気にする犯罪を起こそうとする者に、
犯罪を思いとどませます

登下校時間にあわせての
「買い物」「犬の散歩」「ガーデニング」など



地域の環境美化活動

●地域の清掃活動に参加：地域全体が管理
され、人目が行き届いていることを示す

人目を気にする犯罪を起こそうと
する者に、犯罪を思いとどませます

※犯罪者は地域を見ています

ゴミ出しのルールが守られていない地域、落書きの多い地域、違反広告物がはららんしている地域、自転車が放置されている地域

迷惑行為を容認している地域は、住民同士のつながりが薄く、スキの多い地域と見られ、狙われる



地域で点検してみましょう

●道路

- 高い塀がつづく
- 街路樹が茂り、人目につきにくい
- 落書きがある
- 路上駐車が多い
- 住宅や商店がなくて、人目もなく、逃げる場所もない

●公園

- 木や草が伸び放題
- 樹木が生い茂り、周りからの見通しが悪い
- 遊具が壊れている
- 人がいない
- 落書きが多い
- 照明が少なく、夜間は暗い

●住宅街

- 落書きがある
- ゴミが落ちている、ゴミが散乱し汚い
- 自転車が道をふさいでいる
- 自販機など、人目をのがれて隠れるスペースがある
- 街灯がなく、夜間暗い
- 草が伸び放題の空き家や空地がある



犯罪者が気になること
「人目」

「地域の絆」を大切にしましょう
地域に行き届いた「人目」を大切にしましょう